

研修を終えて

福岡県は、福岡県教育センターを情報拠点とする「福岡県教育情報ネットワーク」を平成13年度より段階的に整備し、平成15年度までにすべての県立学校への接続を完了するとともに、各学校にネットワーク活用委員会を置いた。しかし、校内ネットワークは、各学校のネットワーク管理者を中心として学校独自で構築・運営している状況であった。そのような各学校の状況から問題を調査・分析し、校内ネットワークの管理体制の下、誰もが利用しやすいネットワーク環境を実現するため、校内ネットワークのあり方・運営・管理についてのモデルケースを作成することができた。そのモデルケースを作成するにあたり、情報システムの構成と運用に関する専門的な内容を深めるとともに、学校訪問を行い、高校における校内ネットワークシステムの管理・運用の現状を調査し、これからの校内ネットワークのあり方と運営、その管理組織について検討を行った。また、社会において注目を集めている個人情報保護に関する学校現場における問題提起を行うとともに、その対策についてまとめることができた。

来年度学校現場に戻り、Linuxサーバの構築をはじめ、校内ネットワークの再構築とセキュリティポリシーの策定、ネットワーク管理組織の検討を行いたいと考えている。これは校内の情報化が進みインターネットの教育への活用や、日常の業務の中での電子データの取り扱いなどの比重が日増しに大きくなってきている。そのように便利になってきた反面、生徒の個人情報漏洩に関する問題も懸念されており、校内ネットワークの整備に併せて、校内ネットワークの運用においては、セキュリティ対策や不正アクセス等のトラブル発生時の対応方針を明確にし、具体的な対応手順を整備していきたいと考えている。また、各学校のネットワーク管理者や情報教育担当者間で相談できる横のつながりを作るとともに、休業日等を活用して定期的に有志が集い、今年度研修したネットワーク技術や校内ネットワークの管理運営について勉強会を実施し、各学校の状況や問題点等が話せるような場を作りたいと考えている。

この1年研修では、じっくりと腰を据えてのネットワーク技術に関する学習や講義の聴講、Linuxのインストールと各サーバの構築、システム開発等の実習と、多くの研修を積み重ねたことは、今まで机上でしか学ぶことができなかった内容を実際に体験でき、それによって大きな自信となった。しかし、情報技術の分野においての進展は目覚ましいものがあり、今後新しいものへと日進月歩に変化していくと思われる。それに適宜対応していくためにも、これからも継続して研修に励み、自己研鑽に努めていくとともに、本研修で学んだことを一つでも多く学校現場と生徒に還元できるよう、工夫改善を行っていきたいと思う。

最後に、この研修を進めるにあたり、指導教員である櫻井教授並びに堀助教授には、研修内容の立案及びその場に合った的確なご指導、実習をするための環境等をご提供いただき、心より感謝申し上げます次第である。また、指導助言等でご尽力頂いた福岡県教育委員会高校教育課の高野主任指導主事並びに泉指導主事に深く感謝するとともに、1年間という長期にわたる研修に専念できるようにご配慮頂いた文部科学省並びに福岡県教育委員会の関係各位、所属校校長である長濱英俊校長をはじめ、本校職員に対し感謝の意を表する次第である。

平成17年3月10日